

## 第4回定例委員会会議録

教 育 長 ) 開会宣言

教 育 長 ) 会議成立の宣言

教 育 長 ) 会議録署名委員の指名（上月委員）

教 育 長 ) ここでお諮りいたします。

報告第2号「令和4年度教育委員会関係補正予算について」  
ですが、市議会提出案件のため、非公開で行いたいと思  
いますが、御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認め、そのように決定いたします。

教 育 長 ) ただいまから非公開で審議いたします。

〈非公開審議〉

教 育 長 ) それでは、審議に入ります。

日程第1、報告第2号「令和4年度教育委員会関係補正予算  
について」を議題とします。

提案説明を求めます。

学校教育課長) 〈議案資料に基づき概略説明〉

教 育 長 ) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

木 村 委 員 ) これは、給食を食べる生徒さん1人当たり、幾らぐらいの  
補正になるのですか。

学校教育課長) 1人当たり小学校は1食5円、中学校は6円となります。  
その根拠としまして、現在は1食の給食費として小学校で  
250円、中学校で290円を徴収しています。その中に占め  
る主食、副食とありますが、1食の中に占める副食の割合が約

60%です。250円掛ける60%で、大体150円前後の数字が出てまいります。それに3.4%という数値を掛けて、5円と6円を算出しております。

3.4%の根拠は、消費者物価指数が総務省から出ておまして、いろいろある物資の物価、指数的には2.0%ですが、食品だけで、昨年9月20日時点での数値を拾いますと、昨年度からの物価上昇率が食品に限っては3.4%で、例えば小学校で副食の150円掛ける3.4%が5円、厳密には5.3円ですが、5円の上昇分を見込んで計算したという形です。

木村委員) 价格的には食品も1割ぐらい上がったような気がしますが、取りあえず出すということでしょうけど、また追加して増やしていかないといけないような感じがするのですがいかがですか。

学校教育課長) もともと高騰前からギリギリのところで行っていましたので、4月、5月に関しては、急に上がったということはないですが、6月に入って急にいろいろなものが上がり、例えば食用油など、今後さらに上がる気配もございますので、そこを見込んで、このたび計算しました。

実は非常にやりくりをしまして、他市に聞きますと、給食センターがある市町ですと燃料費や、もう1回温め直すための電気代がかかるなどがありますが、芦屋は自校調理で、その辺の費用がかからないことと、もともと手づくりでこだわってまいりましたので、他市では機械を通してカットしたものを購入しているとも聞きますが、芦屋の場合はほとんど手で作業していますので、そういう意味では、経費が抑えられて、食品だけで、副食費だけの上昇率を見込んで計算できることになって

おります。

木村委員) ジャガイモなどを増やしたら、安くして栄養価も一応保てますが、同じようなものばかりになってしまいますね。

学校教育課長) そうですね。週の御飯、パンの割合としては、御飯が3で、パンが2ですが、そのあたりも、少し御飯の割合を増やすなどして対応しているのが1つと、今おっしゃられたジャガイモなども、少しですが、2、30円昨年より上がってしまっていて、タマネギは天候に左右されて高騰していますので、そういうものはできるだけ押さえて、逆にブロッコリーやハウレンソウ、ピーマン、ニンジン、ネギなどは下がってしまっていて、そういったものでやりくりをしている状況です。何とか切り盛りしていたところに、たとえ5円でも加わると、高騰前の質を維持しながら行けるであろうという見立てで、今回の補助申請に至りました。

極楽地委員) 今回の補正予算、ありがとうございます。学校現場や保護者、PTAの方から給食費の懸念事項がかなり上がってきてしまっていて、実際に何か寄附できないかとか、給食費を保護者負担で、他市のように値上げも考えないといけないのかなどの御意見をいろいろ聞いてしまっていて、お話しさせていただきたいなと思っていた内容だったので。今回の補正予算は本当にありがたく、安心いたしました。

実際、栄養士さんもすごく御苦労されているとお聞きしていますので、この補正予算の5円、6円はとても大きなものだと思いますので、皆さん少し楽になられると思います。

今後、先ほど木村委員がおっしゃっていたように、もっと上

がる可能性もあるので、そのときを見越して、本当に給食費を保護者、各ご家庭に100円、200円、御負担いただくことも視野に入れることは致し方なしかと個人的には思っていますので、また引き続き御対応をよろしくお願いいたします。

学校教育課長) 指摘されました給食費の価格の検討も平行して協議しながら、この高騰ぶりも見ながら、ちょうど前回は消費税が8%になった平成28年に5円上がっています。その頃からずっと据え置いて踏ん張ってきておりまして、今後も、いろんなお声を頂きながら、保護者のみなさまに負担をかけないという趣旨でやってまいります。

木村委員) 今回、補正額は416万5,000円ですが、そのうち国からの補助は幾らぐらいでしょうか。

学校教育課長) 申請した金額と聞いています。

木村委員) 全額頂けるとのことですね。

学校教育課長) はい。

教育長) 給食は250円で全てできているわけではありません。民間の食堂であれば人件費、部屋代、調理器具代、ガス代や電気代が要ります。しかし、給食に関しては、全部それを市が負担していますので、そういう部分は全く徴収していません。調理師さんたちが手づくりで、より良いものにしてきています。

給食費は頑張って据え置いてきました。今回は国の施策に乗って保護者のかたの費用としては上げないですが、このまま行くと値上げは避けられないことは保護者の皆さんにお伝えして、御理解いただかないといけません。

1日5円といっても月にすると100円、年間1,200円

になります。

給食費が上がることに對するアレルギーはあると思うので、それは今から言っていけないといけないと思います。なぜ上げるのかということになりますので。

まずはP T Aの皆さんなどと、給食の材料費が上がったということ、こういう支援ができていくという報告をしていかなければならないと思います。

校長をされていた上月委員、どうですか。

上月委員) 早くに取り組まれたことは、とてもよかったですと思います。先ほどの極楽地委員の考えと同じです。

最終段階として、給食費の値上げが視野にあるということですね。現場でも、それこそ4つにカットしていたものを6にカットするという話も聞きましたし、食材の工夫もされている。そういう努力をして現在の給食費を維持しようとしているということを市民や保護者の皆さんに理解してもらうことが大事だと思います。

極楽地委員) おっしゃったように、本当に今、苦勞いただいて、対応いただいていることを周知していくことが大事だなと改めて思いましたので、私ができる範囲で、P T Aの皆さん、学校などにお伝えしていきたいと思っています。

教育長) 他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

それでは、報告第2号「令和4年度教育委員会関係補正予算について」の報告を受けたものといたします。

教育長) 非公開での審議は終了いたしましたので、これより公開い

たします。

〈非公開審議 終了〉

教 育 長 ) 閉会宣言